

でもそれは、丈夫な体と体力と、どこか呑気でタフなメンタルがあつてこそできること。だからこそ、今年が残り少ない自らの健康寿命つてやつに賭けるラストチャンスだと思つたのです。

よく経営者の方の自伝などの中で「命までは取られない」という言葉が出てきます。それは多くの場合あくまでモノの喩えとして、失敗を恐れずにチャレンジをしてみるという意味で使われているのであつて、実際に自分の身体を生命の危機を感じるほどの危険にさらすことを前提として用いられているわけではありません。

その点、私も「さすがに命を失うことはあるまい」と思いながらも、その一方で「致命的な大怪我を負つてしまいかもしれない」ということを覚悟のうえでポータトリップに行くのですから、病気をしない、怪我をしないという意味で、世間一般の健康オジサンから見たらある意味狂気の沙汰と思われる

てしまうかもしれません。ですが、私はこの機会を失いたくないのです。

あるデータによると、高齢化と未婚化が進行する我が国で孤独死する人の平均年齢は61歳で、そのうちの8割が男性なのだそう。ほぼ私と同世代の人たちです。そんな彼らの抱える絶望を、私は慮ることしかできないのですが、彼らがこれからの人生に希望を見出すことができずに「もうどうでもいいや」と生きていくことを放棄したくなる気持ちは、何となくですが理解することができそうです。人が生きていくためには、健康やお金だけではなくて、これからの未来に、何か良いことがあるかもしれないというような夢とか希望とか、そんな（曖昧なものかもしれないけど）生きていくうえでの張り合いみたいなものが必要なのだということも。

だからと言って、そんな曖昧なものを追いかけて、2週間も仕事や家庭を

ほつたらかして電波も届かない外洋を小型船に乗ってフラフラしに行くなんて、還暦前のオジサンがやることにしては少々無鉄砲でセンチメンタル過ぎやしないだろうか？と、私なりに色々思うところはあります。ですが、誰が何と言おうと、私は「You may be right. I may be crazy」A Billy Joelの曲を口ずさみながら、さっさとポートに乗ってしまつてもいいです。だって、あまり深く考え過ぎて気を病んでしまつては元も子もありませんから。



Akira Saito

川橋 昭和
士橋 昭和
務京 昭和
学京 昭和
法京 昭和
計京 昭和
理京 昭和
士京 昭和
会京 昭和
会京 昭和
医京 昭和
生京 昭和
理京 昭和
士京 昭和
波京 昭和
に京 昭和
乗京 昭和
る京 昭和
か京 昭和
か京 昭和
？京 昭和
」http://blog.livedoor.jp/saiki555/

【近況】暑い。暑すぎます。昨日ホームセンターのガーデンコーナーに行ったら、軒並み夏野菜の苗が枯れてしまひそうなくらい萎れていました。